平成２９年４月５日
リサイクル燃料貯蔵㈱

TOPICS

『設立以来初の新卒者が入社しました』

当社はこのたび会社設立以来初めて新卒者を採用し、４月３日に入社式を行いました。
新卒者は３名（事務系社員１名、技術系社員２名）で、今年３月に県内の高校を卒業した青森県出身者（技術系２名はむつ市出身）です。
ＲＦＳ事業の中核を担う人材として、大きな期待が寄せられています。

原子力に携わる事業者である当社にとって、「将来の事業の中核を担う人材の確保」、「技術・技能の確実な継承」は重要な課題であり、その対応のひとつとして、社員の新規採用に向けた取り組みを進めてきました。
このたび、当社として初めて新卒者を迎えることとなり、４月３日、当社のビジターハウス内で入社式を行いました。
入社式には新卒新入社員３名、ＲＦＳからは峯雅夫社長以下管理職２１名が一同に会し、その門出を祝いました。
峯社長からは新入社員に対して「当社は我が国初のリサイクル燃料の貯蔵事業者。パイオニア精神で進んでいかなければならない。毎日毎日が勉強だ」、「地域の皆さまが、国の将来、地域の将来を考えて立地を決断していただいたことを、一日たりとも忘れてはならない。皆さんがＲＦＳの屋台骨となる日が来ることが私たちの願いであり、地域の皆さまの願いでもある」と今後の活躍と期待を込めての言葉がかけられました。
新入社員からは、「未来の人たちにエネルギーを供給できるような仕事をしたい」、「社会人としての自覚を持ち、今まで以上に勉強に励み１日でも早く仕事に慣れるよう頑張りたい」、「地域の力になりたい」との思いが述べられました。

ＲＦＳは、今後とも引き続き新卒者採用を進めるとともに、むつ下北地域の振興に少しでもお役に立てるよう、むつ下北地域で求職する方の中途採用についても進めてまいります。

【４月３日の入社式の様子】